

# 庁舎周辺の美化に努めています

クリーン・キャンパス・21

今年度の帯広開発建設部の活動状況



**帯広開発建設部では、**帯広市のアダプトプログラムであるクリーン・キャンパス・21に参加しボランティア清掃活動を行っています。

当部独自の取組として、今年度は5月から11月までの間に庁舎周辺と中央公園のゴミ拾いをあわせて12回行いました。職員から参加者を募り、昼休みに15分程度、汗を流し、時には寒さに震えながら活動しました。庁舎周辺では、NHK側の通りにタバコの吸い殻が多く見られました（特にバス停付近）。経験を重ねることで、車道と歩道の段差のふちに吸い殻が集まりやすいことがわかりました。北海道新聞社側は、特に荒天の直後では風で飛んできたと思われるお菓子などの包装が落ちていることがありました。庁舎裏玄関側の道路の緑地は草が伸びてくると、空き缶やペットボトルが捨てられやすい傾向にありました。

一方、中央公園は頻繁にゴミ拾いされているためか、全体的にゴミは少なく感じました。そのような中で、ゴミ拾いのポイントはベンチ付近。公園で食事した人のものと思われるパンなどの包装、空き缶が放置されていることがありました。4条通りの歩道の緑地は、やはり草が伸びるとビニール袋ごとゴミが放置されていることも。ゴミを捨てにくい環境作りのためには除草も大事だということに気がきました。

**年2回の参加団体全体の活動は、**春は5月13日、秋は10月21日に開催されました。各回とも帯広市役所に集合し、班ごとに分かれて帯広市中心部のゴミ拾いを開始。大きい道路はタバコの吸い殻程度で、帯広が綺麗な町であることが実感できました。しかし、ちょっとした陰や草むら、中央分離帯の緑地には大きいゴミが隠れていました。壊れたカサのほか、ホイールカバー、自転車のサドルなどの大物を収穫する参加者もいました。



帯広開発建設部では庁舎周辺のほか、河川・道路でも美化活動を行っています。来年度も管内の美化活動に取り組んでいきます。

クリーン・キャンパス・21は帯広市のHPIに掲載されています  
<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/shiminkankyoubu/kankyouka/a160101seisouborantea.html>